



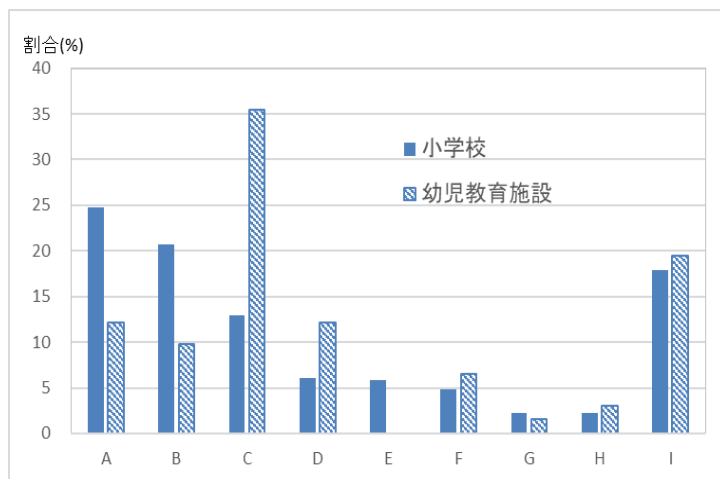
幼児教育センターだより

No.10

富山県教育委員会 教育みらい室 小中学校課
富山県幼児教育センター

今年度も県内4地区で地区別幼児教育・小学校教育接続研修会を行いました。今後の各園所校や市町村の取組の参考にしていただけたらと思います。

1 研修を通して学んだことや考えたこと（参加者アンケートより）



- A 幼児と児童、共に学びのある活動にする
- B 互いのねらいに沿った活動にする
- C 互いの教育の様子や違いを理解できた
- D 交流活動の前後で打合せの時間を取る
- E 小学校側が招待するという形を見直す
- F 幼児の経験を生かして授業をつくる
- G 子供が主体的に取り組む交流活動にする
- H 幼保小接続の大切さを実感した
- I その他

2 幼保小の円滑な接続を推進するために大切なこと（参加者アンケートより）

互いの保育・教育を参観するとき

互いの保育や教育への理解を深めることが大切

<参観前>

- ・活動のねらいや子供への願い、環境の意図等について共有する。

<参観後>

- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿や育成を目指す資質・能力に照らして子供の姿を捉える。
- ・保育と教育がどのようにつながっていると思うか話し合う。

※保育・授業参観中は、接続ガイドⅡの「よりよい理解のために取り組んでみよう」を活用ください。

交流活動をするとき

交流の事前、事後に打合せをすることが大切

<事前打合せ>

- ・互いの活動のねらいを明確にし、確認する。
- ・幼児と児童、共に学びのある活動を計画する。

<事後打合せ>

- ・互いの活動のねらいが達成できたか振り返る。

- 1) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿） 2) わくわく・きときと接続ガイドⅡ



【1月の主な予定】

20日（火）訪問研修からの学びを語る会



21日（水）第3回市町村幼保小接続推進連絡協議会（7市町村）

22日（木）第3回市町村幼保小接続推進連絡協議会（8市町村）

28日（水）第2回富山県幼児教育推進連絡協議会



地区別幼・小接続研修でグループ発表する様子